

(案)

第 5 次 地 域 管 理 経 営 計 画 書  
第 5 次 国 有 林 野 施 業 実 施 計 画 書

(大淀川森林計画区)

(第 1 次変更計画)

計画期間

自	平成 3 0 年 4 月	1 日
至	平成 3 5 年 3 月	3 1 日

(平成 3 1 年 3 月変更)

九 州 森 林 管 理 局



(案)

# 第5次地域管理経営計画書

(大淀川森林計画区)

(第1次変更計画)

計画期間

自	平成30年4月	1日
至	平成35年3月	31日

(平成31年3月変更)

九州森林管理局



## 地域管理経営計画の変更について

### [変更理由]

「綾森林生態系保護地域」を拡充し「北霧島風景林」を廃止したことから、国有林野の管理経営に関する法律（昭和26年6月23日法律246号）第6条及び国有林野管理経営規程（平成11年1月21日農林水産省訓令第2号）第6条第9項に基づき、変更するものである。

なお、本変更計画の効力は、平成31年4月1日より生じる。

### 1 現行計画（平成30年3月策定、計画期間：平成30年4月1日～平成35年3月31日）の変更内容

- (1) 「2 国有林野の維持及び保存に関する事項」の「(3) 特に保護を図るべき森林に関する事項」の「①保護林」を上記理由により変更する。
- (2) 「4 国有林野の活用に関する事項」の「(1) 国有林野の活用の推進方針」の「レクリエーションの森」を上記理由により変更する。



## 目 次

2 国有林野の維持及び保存に関する事項	1
(3) 特に保護を図るべき森林に関する事項	1
4 国有林野の活用に関する事項	1
(1) 国有林野の活用の推進方針	1





## 目 次

2 国有林野の維持及び保存に関する事項	1
(3) 特に保護を図るべき森林に関する事項	1
4 国有林野の活用に関する事項	1
(1) 国有林野の活用の推進方針	1



- 2 国有林野の維持及び保存に関する事項  
 (3) 特に保護を図るべき森林に関する事項  
 ① 保護林

種 類	箇所数	面積(ha)
森林生態系保護地域	1	<u>1,485</u>
生物群集保護林	3	5,006
希少個体群保護林	7	149
総 数	11	<u>6,778</u>

- 4 国有林野の活用に関する事項  
 (1) 国有林野の活用の推進方針

レクリエーションの森

種 類	箇所数	面積(ha)
自然休養林	1	1,430
自然観察教育林	1	95
野外スポーツ地域	1	211
風致探勝林	1	113
その他レクリエーションの森	1	2
総 数	<u>5</u>	<u>1,851</u>



(案)

# 第5次国有林野施業実施計画書

(大淀川森林計画区)

(第1次変更計画)

計画期間

自	平成30年4月	1日
至	平成35年3月	31日

(平成31年3月変更)

九州森林管理局



## 国有林野施業実施計画の変更について

### [変更理由]

「綾森林生態系保護地域」を拡充し「北霧島風景林」を廃止したことから、国有林野管理経営規程（平成11年1月21日農林水産省訓令第2号）第14条第2項に基づき、変更するものである。

なお、本変更計画の効力は、平成31年4月1日より生じる。

### 1 現行計画（平成30年3月策定、計画期間：平成30年4月1日～平成35年3月31日） の変更内容

（1）「5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域」の「（1）保護林の名称及び区域」を上記理由により変更する。

（2）「6 レクリエーションの森の名称及び区域」を上記理由により変更する。





## 目 次

5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	1
	(1) 保護林の名称及び区域	1
6	レクリエーションの森の名称及び区域	1



## 目 次

5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	1
	(1) 保護林の名称及び区域	1
6	レクリエーションの森の名称及び区域	1



5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

種類	名称	既設 新設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
森林生態系保護地域	綾	既設	保存地区 <u>717.42</u>	宮崎 2042ほ1、ほ2、ち～ぬ 2043い、ほ 2044に、に1、に3、ほ 2045は、ほ～ち、ぬ～わ 2046ろ、と、は、は1、に～へ、ち 2091た、ヌ 2092い～に、ハ 2093い～は 2094い、と、ニ	宮崎県の綾川上流域に残された原生的な照葉樹林は、日本一の規模を誇るとされ、局型的な植生を有する区域では、照葉樹林を象徴する森林相観を有しており、常緑のブナ科樹木のほとんどの種が分布し、高等植物は約800種以上に及んでいる。 また、照葉樹林の高木構成種25種のうち24種が生育しており、植生の垂直分布が見られるとともに、貴重な動植物の分布域であり、学術的に高い価値と希少性を有している。
			保全利用地区 <u>767.88</u>	宮崎 <u>2041い～た</u> <u>2042い～ほ、へ、と</u> <u>2043ろ～に</u> 2044い、い1ろ、ろ1、は、に2、に4、ほ1、 <u>へ～と3、ち、り</u> <u>～わ</u> 2045い、い1、ろ、ろ1、は1、は2、に～に5、り～り2、る1、か、よ 2046い、と1 2091い1、ろ、 <u>は～と1</u> と2、～よ 2094ろ～ほ、ほ1、へ、へ1、ち～ち4、り、ぬ、る、る1、わ～わ4、か、か1、よ 2095ほ2～ほ4、へ、と2、ち8、ち10、り1 2096は1、に1	
	計		<u>1,485.30</u>		

6 レクリエーションの森の名称及び変更面積計2,084.88→1,851.24